

ファームウェア Xerus 4.0.x 以降のネットワーク設定の変更について

このドキュメントは、Xerus 4.0.x 以降における従来のネットワーク設定との変更点についてまとめたものです。

システム全体で共通のデフォルトゲートウェイを設定していた従来のリリースに対し、4.0.x 以降のリリースではインターフェース固有の Default gateway を設定できる機能が追加されました。

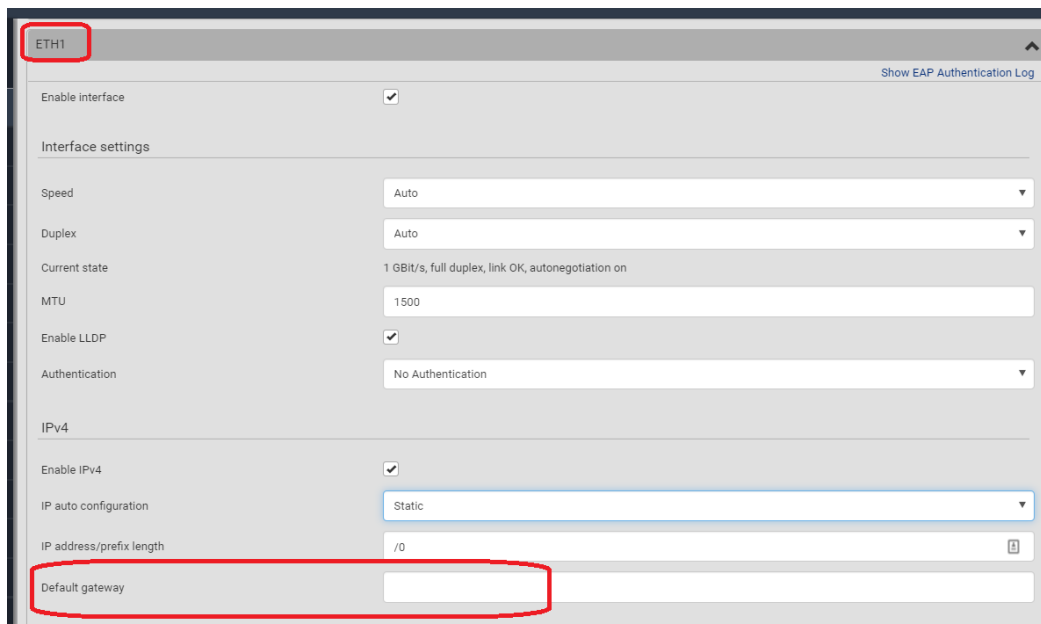
そのため、工場出荷環境の Xerus 4.0.x のユニットは、以下のインターフェースにおける初期設定手順に変更が発生します。

- Web UI (Web ユーザーインターフェース)
- CLI (コマンドラインインターフェース)
- USB Config Keys (USB メモリを使用した一括設定)
- JSON-RPC API

留意事項：日本モデルは、グローバル向け PDU で対応している Wi-Fi ドングルに未対応のため、Wi-Fi 設定を省略します。

Web UI による設定

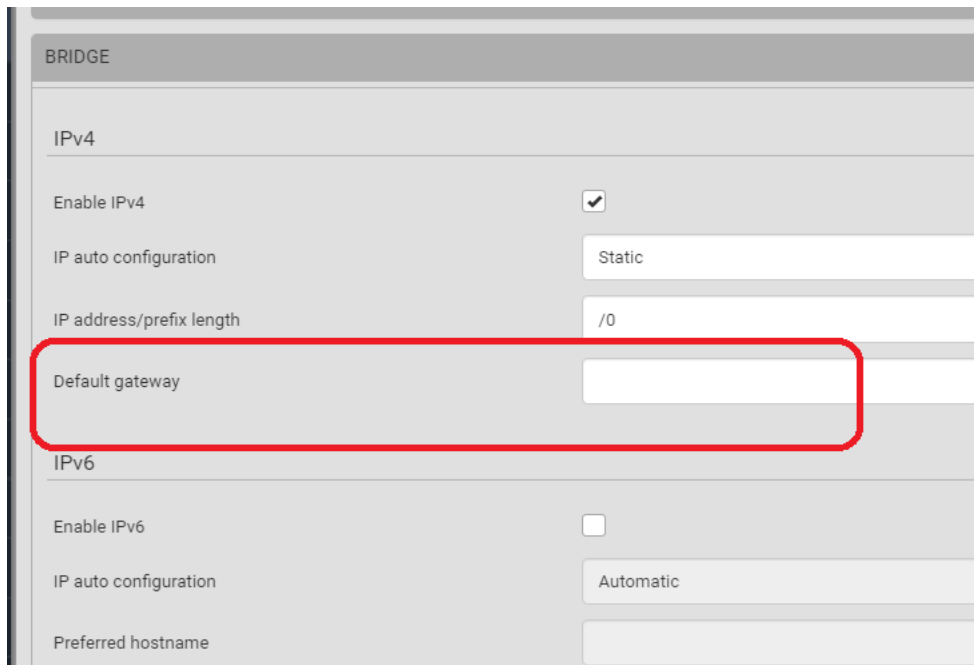
以下のスクリーンショットは、ETH1 のネットワーク設定画面であり、こちらに Default gateway の設定項目が用意されました。ETH2 でも同様であり、それぞれのインターフェース毎に Default gateway を設定することが可能です。



[参照オンラインヘルプ] (英文)

<https://help.raritan.com/pdu-g2/4.0.10/#102426.htm>

Cascading mode で Bridging (ブリッジ・モード) を選択した場合、Default gateway は BRIDGE 設定セクションで設定可能です。



The screenshot shows the configuration page for a BRIDGE interface. Under the 'IPv4' section, the 'Default gateway' field is highlighted with a red rectangle. Other fields include 'Enable IPv4' (checked), 'IP auto configuration' (Static), and 'IP address/prefix length' (/0). The 'IPv6' section is also visible with 'Enable IPv6' (unchecked) and 'IP auto configuration' (Automatic).

CLI コマンドによる設定

CLI コマンドで Default Gateway を設定する場合、インターフェース毎 (ETH1/ETH2/BRIDGE/ETHERNET) に指定します。従来 (3.x 以前) と 4.0.x 以降の CLI コマンドの違いは以下です。

従来 (3.x 以前) : network ipv4 gateway 192.168.56.126

4.0.x 以降 : network ipv4 **interface ETH1** gateway 192.168.56.126

ETH ポートを 2 つ備えた iX7 コントローラーの ETH1 に Default gateway を設定する場合のコマンド例が以下になります。

```
config:# network ipv4 interface ETH1 gateway 192.168.56.126
```

BRIDGE インターフェースに Default gateway を設定する場合のコマンド例が以下になります。

```
config:# network ipv4 interface BRIDGE gateway 192.168.56.126/24
```

ETH ポートが 1 つ、もしくは旧来の PX2 および v6 コントローラーにおいて、Default gateway を設定する場合のコマンド例が以下になります。

```
config:# network ipv4 interface ETHERNET gateway 192.168.56.126
```

USB メモリによる設定

USB メモリに保存した config をロードして Default Gateway を設定する場合、適切な config (eth0, eth1, br0) を指定します。
従来 (3.x 以前) と 4.0.x 以降の config の違いは以下です。

従来 (3.x 以前) : net.routing.ipv4.default_gateway_addr=192.168.56.126

4.0.x 以降 : net.**interfaces[eth0].ipv4.static**.default_gateway_addr=192.168.56.126

4.0.x 以降では "routing" というキーワードが廃止されましたので、これまで使用していた config を更新するにはご注意ください。

各インターフェース毎の config 例が以下になります。

ETH1 インターフェース - net.interfaces[eth0].ipv4.static.default_gateway_addr

ETH2 インターフェース - net.interfaces[eth1].ipv4.static.default_gateway_addr

BRIDGE インターフェース - net.interfaces[br0].ipv4.static.default_gateway_addr

Xerus 4.0.x 以降の環境で古い config を使用した場合、PDU のディスプレイに以下のエラーが表示されます。また、USB メモリ内に log.txt ファイルが生成されます。

```
get_config: ERROR: net.routing.ipv4.default_gateway_addr: Config key does not exist.
```

なお、config ファイルのチェックが正常に完了している (= 構文の誤りが無い) 場合でも、Default gateway のインターフェースの指定が PDU の実際の仕様と適合しない場合、config が PDU に反映されない場合があります。

JSON-RPC API による設定

インターフェース毎に Default gateway を設定するために **staticDefaultGatewayAddr** の中に新しいフィールドが追加されました。